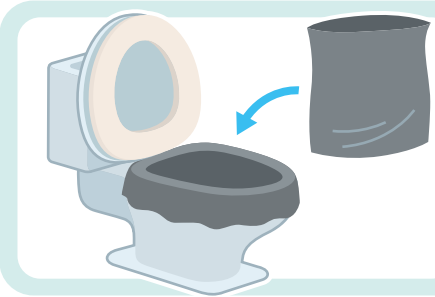


POINT 6 「簡易トイレ(トイレ処理剤)」の使い方を確認する

※市販のトイレ処理セット(凝固剤タイプ:汚物袋・凝固剤各1個で1セット)の場合



① はじめに
45L程度のポリ袋
(指定ゴミ袋などで可)を
便器に被せておく。

汚物袋を外すときに濡れずに済みます！
基本的に簡易トイレが不要になるまで
交換は不要です。(汚れたら交換しましょう。)

トイレ処理剤がない時の代用品

汚物袋 → 45Lのポリ袋(指定ゴミ袋など)
凝固剤 → ちぎった新聞紙や猫砂など

② 付属の汚物袋を被せ、
便座を下げて固定します。



③ 用を足した後に付属の
凝固剤(処理剤)を入れます。



④ 空気をしっかりと抜き、
袋を縛って「燃えるゴミ」で
処分します。



POINT 7 家具・家電などを固定する

つっぱり棒 家具と天井の隙間に設置し、
家具が倒れないようにします。
ネジ止めが不要なため、天井や壁を傷つけません。
(天井に強度が必要)

L字金具 家具と壁を
ネジやボルトで
固定します(壁に強度が必要)。

飛び出し防止器具
留め具をつけて戸棚の扉が
開かないようにし、中身の
飛び出しを防止します。

食器等 落ちて割れない
よう食器棚内に
しまっておきましょう。

キャスター下皿 キャスター部分に受け皿を
敷き、動かないようにします。

落下防止ワイヤー

吊り下げている照明器具などが落下しない
よう、ワイヤーやチェーンで固定します。

ガラス飛散防止フィルム

窓ガラスやガラス扉のある家具
等に貼り、割れたガラスが飛び
散らないようにします。

固定ベルト

家具・家電を壁などに
固定し、倒れるのを
防いだり、飛ばない
ようにします。

粘着マット

粘着性のゲル状の
もので、家具などの
底面と床面を接着
させます(有効期限に
注意)。

その他の備えは
防災ガイドブックを確認！



発行元・問い合わせ先

尾張旭市役所 総務部 危機管理課
電話 0561-76-8127 (直通)

令和7年3月発行

尾張旭市

在宅避難のすすめ

～尾張旭市では在宅避難を推奨しています～

「避難＝避難所へ行くこと」ではありません。

「在宅避難」とは、大きな地震が発生したとき、自宅に倒壊や火災の危険がない場合に、避難所へ避難するのではなく、自宅で避難生活を送る方法で、他の避難方法と比べてストレスの少ない避難方法です。

在宅避難のメリット

- 住み慣れた環境で生活できる
- プライバシーが確保できる
- 感染症リスクが低い

指定避難所への避難は、多くの方と
共同生活となるため、プライバシーの
確保が難しかったり、衛生面から
感染症にかかりやすいといった
デメリットがあります。

災害時に日常に近い生活を送るために、
できることから在宅避難の準備を始めましょう。

避難方法の
種類は
こちらを確認



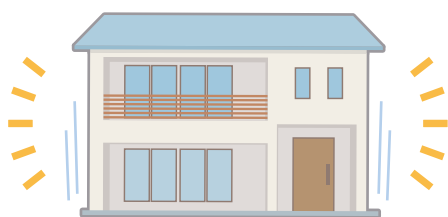
在宅避難のためのポイントを内面及び裏面でチェック！

POINT 1 在宅避難が可能かどうかを確認する

地震の場合

以下のすべてが ☒ の場合

- ☒ 倒壊する恐れがない
- ☒ 柱や梁に傾きや亀裂がない
- ☒ 隣家の倒壊の恐れがない
- ☒ 自宅・近隣で火災が発生していない
- ☒ 土砂災害が起こる恐れがない



ハザードマップは
こちらで確認



水害の場合

①のすべてが ☒、かつ、②のいずれかが ☒ の場合

①

①のすべてが ☒ であること

- ☒ 自宅が家屋倒壊等氾濫想定区域※1の外にある
- ☒ 自宅が土砂災害警戒区域※2の外にある

※1 矢田川・香流川流域浸水予想図(浸水継続時間・河岸侵食)の
茶色破線部分の場所

※2 土砂災害ハザードマップの赤及び黄色に塗られている場所

②

②のいずれかが ☒ であること

- ☒ 自宅が浸水想定区域※3の外にある
- ☒ 浸水想定区域※3に自宅があるが、
建物の最上階が想定浸水深より高い
(浸水深より高い階に避難できる)

※3 洪水・内水ハザードマップの色が塗られている場所

POINT 2 在宅避難をするときは…「避難所利用者登録票」を提出する

- 指定避難所の受付にある「避難所利用者登録票」を提出することで、
避難者として登録され、物資の配布などの支援を受けることができます。
- 支援物資は指定避難所で配布するものを取りに来てもらう必要があるため、
自宅近くの避難所に提出することをおすすめします。
- いざというときに備え、「避難所利用者登録票」をダウンロード(または印刷)
しておき、事前に記入できる項目は記入しておきましょう。

「避難所利用者登録票」は
こちらからダウンロード



POINT 3 自宅の耐震性を確認する

- 昭和56年6月以前に建築された建物(=旧耐震基準)は、
震度6以上の大規模地震が発生すると倒壊する可能性があります。
- 一定の要件に当てはまる木造住宅に対し、耐震診断や
改修費の補助、ブロック塀の撤去工事費の補助などを行っています。

補助制度等はこちらから確認



POINT 4 情報を手に入れる準備をする

- 災害が発生するおそれがある時や、
災害発生時は市から防災情報を発信
します。
- いざという時に情報を手に入れられ
るよう、事前に登録するなどの準備
をしておきましょう。

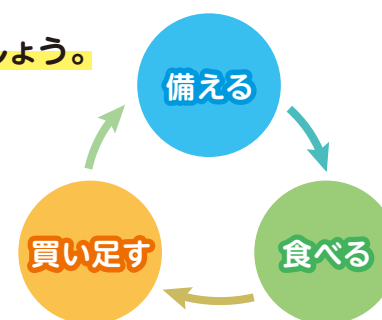


POINT 5 備蓄品を準備する

備蓄量の目安 「最低3日分」できれば「1週間分」用意しましょう。

備蓄はローリングストック法で！

普段消費する飲食料品を少し多めに買い置きし、賞味期限の古い
ものから食べ、食べた分をすぐに買い足すことで、常に一定量の
備蓄を保ちましょう。



とくに大切な備蓄品の必要量を計算してみよう！

飲料水

1日3ℓ×3日×家族の人数 人
= 最低 L

食料品

1日3食×3日×家族の人数 人
= 最低 食

簡易トイレ(トイレ処理剤)

1日5回×3日×家族の人数 人
= 最低 回分

備蓄品チェックリスト 必要なものは家庭により異なります。家族で話し合って決めましょう！

▼飲食料品

- ☒ 飲料水
- ☒ 食料品(缶詰、カップ麺、レトルト食品など)



▼トイレ関係用品

- ☒ 簡易トイレ(処理剤)
- ☒ トイレットペーパー



▼日用品

- | | | | |
|---|---|---|--|
| ☒ カセットコンロ | ☒ カセットボンベ | ☒ ポリ袋 | ☒ ラップフィルム |
| ☒ 歯ブラシ | ☒ 歯磨き粉 | ☒ 水のいらないシャンプー | |
| ☒ 常備薬 | ☒ 救急セット | ☒ 生理用品 | ☒ 消毒用アルコール |
| ☒ モバイルバッテリー | ☒ 乾電池 | ☒ 卓上ライト | ☒ ライター |



家庭によって
プラスで用意

▼乳幼児のいる家庭

- ☒ 粉・液体ミルク
- ☒ 使い捨てほ乳びん
- ☒ 紙おむつ
- ☒ おしりふき
- ☒ 離乳食

▼高齢者・要介護者がいる家庭

- ☒ 大人・介護用紙おむつ
- ☒ 吸水パッド
- ☒ 持病の薬
- ☒ 嚥下調整食・介護食
- ☒ 補助具などの予備

▼ペットがいる家庭

- ☒ ペットフード
- ☒ ペット用トイレシート
- ☒ 首輪
- ☒ ケージ、クレート等